

平成29年11月29日招集

茂原市議会定例会会議録（第4号）

議事日程（第4号）

平成29年12月8日（金）午前10時00分開議

第1 一般質問

(1) はつたに 幸一 議員

第2 議案第22号の上程説明

第3 報告第1号から第3号並びに議案
第1号から第22号までの質疑後
委員会付託

第4 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第4号）

平成29年12月8日（金）午前10時00分 開議

○議長（鈴木敏文君） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。
現在の出席議員は21名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

○議長（鈴木敏文君） ここで報告します。

本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受理し、お手元に配付しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（鈴木敏文君） 本日の議事日程は議会運営委員会において協議の結果、お手元に配付のとおり、一般質問終了後に追加議案の上程説明を行い、議案質疑後委員会付託を行うことといたします。

————— ☆ ————— ☆ —————

一 般 質 問

○議長（鈴木敏文君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「一般質問」を行います。

昨日からの一般質問を続行します。

本日は質問順位11番であります。

発言に入る前に申し上げます。質問者は質問内容を簡明に述べるとともに、答弁者はその内容を的確に把握し、明確な答弁をされますようお願いいたします。

なお、時間は答弁を含め60分以内となっておりますので、御了承願います。

それでは、はつたに幸一議員の一般質問を許します。はつたに幸一議員。

（8番 はつたに幸一君登壇）

○8番（はつたに幸一君） おはようございます。議席番号8番、はつたに幸一でございます。前回の9月議会に引き続き、平成クラブを代表し一般質問をさせていただきます。

なお、今回は今議会の質問者の大とりを務めさせていただきますので、できるだけほかの質問者と重複しないよう心がけます。では、始めさせていただきます。

まず最初に、市長をはじめ当局の皆様、特に内田教育長にお礼を申し上げるとともに、御報

告をさせていただきます。それは昨年9月の私の行った一般質問で取り上げた子供の虫歯予防のフッ化物洗口のことです。私が市政に初めて参加させていただいた昨年4月の選挙の折、茂原歯科医師会の会長をはじめとした幹部の皆様から、当時、小学校で14校中5校が実施されていないので、ぜひ当選したら全校実施できるようにしてほしいとの依頼を受けて、私は当選後、すぐに内田教育長を訪ね、親の90%が望んでいるのだからとお願いをし、その結果、内田教育長は、全小学校の校長あてに手紙を書いていただきました。また、私は保健センターの3人の歯科衛生士さんから残りの5校の現状を確認させていただき、直接、5校の校長先生に直談判してまいりました。中には、さまざまな理由で抵抗もありましたが、結果的に検討いただくことになり、さらに、私は事あるごとに各校長に確認をし、そして一般質問をさせていただきました。その結果として、この10月から小学校全校でフッ化物洗口が実施されることになりました。ありがとうございます。茂原歯科医師会会長からお礼の連絡があり、私もうれしい限りでございます。まずもって、このことを最初にお伝えし、御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、一般質問に移りますが、今回は1番目として、財政の見通しと茂原の将来像に関する事、2番目として、首都圏中央連絡自動車道、いわゆる圏央道の利活用に関する事、3番目として、市民の皆様の声をもとにした市民生活環境の向上について質問させていただきますので、田中市長をはじめ、市当局の皆様のお快なる御答弁、よろしく御礼申し上げます。

さて、私は以前、次の3つの流れにどう対処するかで茂原の未来は変わってくると御指摘申し上げました。1番目として、ボーダーレス社会の到来により、情報、金融のみならず、国際化の波にどう対処するかということ、2番目として、日本全体の人口問題、すなわち急激な少子高齢化と東京圏一極集中による人口減少にどう対処するかということ、そして3番目として、地球温暖化による世界的な異常気象と大きな自然災害にどう対処をするかということ、この3点でございます。このような中で、茂原の基盤となる産業をどうしていくのか、市民生活をいかに充足していくのかが問われますと申し上げてまいりました。まさにこのような観点に立ち、今回も質問させていただきます。

まず最初に、財政の見通しと茂原の将来像についてでございます。

何度も申し上げておりますとおり、田中市長の手腕により、茂原の財政は御承知のとおり、改善してまいりました。これは称賛に値することです。しかし、田中市長、これからもこのまま今までのペースでいけば、茂原の将来は安定し、住んでよかった、あるいはぜひ住みたいとほかの地域から移住をいただける町になるとお考えでしょうか。それとも、時代の流れに乗り

遅れ魅力のない町になってしまう危惧はないのでしょうか。このような観点から、財政について御質問申し上げます。

簡単に会社に例えて言えば、貸借対照表上、茂原の場合、貸方は負債が非常に多いものの、一方、自己資本も増えている状況です。しかし、借方は、それに見合った資産は評価損を出し、目減りしている状態であります。具体的には、実質公債比率及び将来負担比率が改善しているものの依然高く、その一方で、財政力指数及び財政調整基金が増えている状況です。では、この借金はどうすればよいのかというと、企業では稼いで返済するしか方法はないのです。市政で言えば、稼ぐということは税収を増やすことにほかなりません。税収を増やすには、それを払う法人を含めた市民を増やす政策を実現するしか方法はないのです。

ここでまず1番目の質問です。本市の考える財政健全化とは、どのような状態をもって健全化していると言えるのか、お伺いします。

次に、市の考える財政状況では思い切った政策はまだなかなか打てないのかということでございます。つまり、後期基本計画の第6次3か年実施計画は2020年に満了となるわけでございますが、現在は概ねその路線で実施されているわけですが、策定当時に比べ、周辺では大きな変化がありました。それは、2020年の一宮町でのオリンピック・パラリンピック開催でございます。この歴史的な世界のイベントをチャンスと捉え、計画の中に取り入れるべきだと私は考えますが、いかがでございますか。

(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジも、今のままでいけば、2020年にただ乗り降りするだけのスマートインターチェンジが完成し、オリンピック・パラリンピックは単なる行事として開催されるだけでございます。私はこのような事案を一過性にとどめず、チャンスと考えて行動を起こすべきと考えます。ラブレーの言葉に「チャンスは前頭だけに髪の毛があり、後頭ははげている。もしこれに出会ったら前髪をとらえよ。一度逃したら、神様でもこれをとられることができぬ」とあります。このような観点から、現在の諸計画を練り直し、あるいは2020年を見据えた次期総合計画において、財源にこだわらず、茂原市の将来像について、人口の増加を目指した攻めの政策を考えるべきと思いますが、いかがですか。お伺いします。

それと、現状の計画の中で私がネックの1つと考えるのが、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の計画でございます。これまでと同程度の事業費では事業期間内の完成は厳しいと思いますが、今後どのように展開をしていくのでございますか。お伺いします。

次に、大きな2項目めとして、圏央道の利活用について質問します。

ここでも私は以前から、(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業を最大限利用

し、できれば長柄町とともに人的交流を生み出す施策、あるいは自然との調和を図ることのできる開発誘導策を行い、新市街地として整備することとタイムリーに進めることを主張してまいりました。具体的には、二宮地区にバスターミナルを創設することを提案してまいりました。私は、地元・国府関の会合にも参加させていただき、多くの住民の賛同も得ているところでございます。

田中市長も昨年12月議会において、私の質問に対し、茂原市都市計画マスタープランにある圏央道整備の地域への波及効果を最大限に享受できるよう、インターチェンジ周辺地区の新しいまちづくり方針に基づき、道の駅や高速バス乗車場など、地域にふさわしい施設について調査、研究してまいりたいと言及されており、前向きな答弁をいただいたわけですが、一方、刻々と時間は経過していきますので、早急な検討が必要と考えられます。

さて、これも以前から申し上げている広域型観光事業推進の件でございます。前回の9月議会でも申し上げましたように、インバウンド需要はうなぎ登りで、2016年には2400万人を超え、2017年には2600万人、さらに東京オリンピック・パラリンピックの開催される2020年には3600万人から4000万人とも言われております。2013年4月に圏央道が開通し、また、茂原市内には現在2カ所のインターチェンジ、そしてスマートインターチェンジが2020年に完成する見込みという中で、何度も言うように、この現状を有効に活用しなければなりません。すなわちインバウンド需要が高まる中、茂原市は、成田、羽田両国際空港や都心から1時間の圏域内になっており、それを有効活用することで茂原市への誘客を増加する必要があると考えます。そんな状況で観光拠点が希薄な茂原市においては、圏央道を活用して、夷隅、房総、その他広域との連携による観光事業の推進について、具体的にいつ、どのような計画を検討しているのか、お伺いいたします。

前回、9月議会にて質問させていただいたときには、広域型観光事業におきましては、広域連携を各市町村に提言していく、あるいは日本版DMOの創設に関しましても、中房総観光推進ネットワーク協議会等の構成団体に対し、あるいは観光関連事業者に対しましてDMO創設の意向や観光資源などのアンケート調査を実施し、集計結果に基づく現状把握、そして分析を通して深めていくという御答弁でございましたが、もう3年ない中で、2020年に一宮町の釣ヶ崎海岸にて世界初のオリンピックサーフィン競技が開催されることが決定しているわけでございまして、このチャンスを逃してはならないと考えますが、いかがでございでしょうか。

次に、茂原市民会館の建設について質問します。茂原市では、現状の茂原市民会館を2年後の2019年3月に閉鎖する予定でございます。その一方で、新茂原市民会館建設については、現

在、市民ワークショップを含め検討に入っておる状況です。私は、この建設についても、圏央道を活用することで周辺自治体からの時間も短縮されることから、以前から言われてきた外房の中核都市としての位置付けを確立するため、近隣が求める文化芸術の拠点機能を整備することもあわせて必要と考えます。茂原市でも、平成13年度に策定された茂原市総合計画の基本計画の中の第1章の教育文化、第6節市民文化、第1項文化環境の整備において、文化施設の整備について、文化会館の建設を広域的見地から推進すると言及されております。

さて、私は先ほど来、インバウンドも視野に入れた交流人口増を図るために圏央道の利便性を上げるべく、（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジ付近へのバスターミナル構想を述べ、さらに広域型観光の推進についても促しましたが、もう一つ、これは県の事業であります。二宮地区で現在、長生の森公園整備事業が進められております。この事業を有効活用し、（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジにほど近いこの地に図書館、公民館あるいは民間事業会社をも取り込んで、広域連携の中で複合施設としての新文化会館を建設することも外房の中核都市として検討に値すると思っておりますが、市の見解を伺います。

さて、私は今回、圏央道の利活用において、広域型観光と新文化会館の建設について御質問させていただいたわけですが、これからは、御案内のように、人口減少社会の中で、人口ビジョンから考えても、持続的な活力をもたらす人口集積を図ることが必要でございます。そして、茂原市の財政状況を考えると、周辺市町村との連携、さらに県、国との連携がなくてはならないと考えます。新たな開発のためには、茂原市や市民のみならず、周辺市町村の協力、あるいは大手企業の力、県、国の力が必要です。

現在、長生郡市では、長生病院、消防署、清掃、水道などが広域組合事業として行われておりますが、私は、形式はどうあれ、ほかの分野での連携が必要と考えます。実際、スマートインターチェンジ事業は長柄町と共同で実施しております。長生の森公園、いはる工業団地は県と共同で事業が行われておるわけでございますが、このような社会基盤づくりはもとより、他の分野、すなわち商工業、文化芸術、公園イベント、M I C Eの振興。M I C Eとは、meeting（会議、研修、セミナー）、incentive tour（報奨、招待旅行）、conferenceまたはconvention（大学、学会、国際会議）、exhibition（展示会）の頭文字でございますが、例えばこのような分野で圏央道の効果を有効に引き出すために積極的に周辺市町村、県、国との連携を茂原市がリーダーシップを発揮して新たな事業を展開していくお考えはありませんか。まさに2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れて事業展開を図るべきと思いますが、いかがですか。お伺いします。

次に、大きな3番目として、市民生活環境の向上について御質問いたします。

まず最初は、防災対策についてでございます。皆さん、御記憶でしょうか、2011年3月11日の東日本大震災の大川小学校の悲劇を。これは、生徒と先生を合わせて119名中84名が犠牲となりました。事前に訓練ができており、迷わず山へ駆け上がっていたら、津波に対する大惨劇が救えたのでございます。

一方、釜石市では、市内の小中学生の生存率が99.8%と、津波の難を逃れ、奇跡と呼ばれたのですが、これは教育で子供たちが身に付けた対応力が、いわゆる想定外を乗り越えさせたのでございます。いかに事前の対策が重要なのかを物語っております。

さて、質問です。まず、茂原市民一人一人に防災意識の向上を醸成させる取り組みを行っておるのか、お伺いします。

次に、1995年1月に起こった阪神・淡路大震災の場合は、地震による直接的な死者数は5502名であり、その約9割の4831名が住宅建築物の倒壊等によるものと言われております。このときに大きな被害を受けた住宅建築物の多くは、昭和56年5月31日以前に建築を着手した、いわゆる新耐震基準に適合していない住宅建築物でした。これ以来、国においても建築物の耐震性強化が図られ、茂原市でも2011年3月に茂原市耐震改修促進計画を策定し、既存建築物の耐震診断や耐震改修等を計画的に、かつ総合的に進めることにより、災害に強いまちづくりを目指しているところでございます。今回は、学校、体育館、病院、集会所、老人ホーム等、多くの人が利用する特定建築物の耐震化の状況をお伺いします。

さて、防災対策は、自助・共助・公助と言われます。最近では、自助・近助・共助・公助とも言われますが、要は、もはや地域で取り組むべき課題であると認識されております。地域とは、具体的には、自治会あるいはまちづくり協議会を指すと思われそうですが、茂原市内で自主防災組織がどの程度組織されているのか、また、カバー率はどのくらいなのか、お伺いします。

次に、茂原の市営住宅の件についてお尋ねします。

市営住宅も耐震基準を満たしていないところもあり、順次見直しを図っていくわけですが、今後の市営住宅の用途廃止計画について、まずお伺いします。

2番目として、用途廃止に向けた住民説明をどのように行っているのか、お伺いします。

最後に、借地料を払っている市営住宅の現状についてお伺いします。

いよいよ最後の質問ですが、スポーツ振興についての質問です。1年前の一般質問でもお伺いさせていただき、昨年の中村教育部長からも前向きな御答弁をいただきました。今年は、私も向後議員とともに緑ヶ丘リレーマラソンに参加させていただきましたが、さらなる向上を目

指すものであります。この大会は、緑ヶ丘在住の市民の方が2014年に立ち上げ、これを緑ヶ丘自治会の皆様が協力し、4回目を迎える大会です。回を重ねるごとに参加チーム、あるいは参加者数も増え、今年は56チーム、484名となりました。大会のコンセプトは、住民の高齢化と人口減少を続ける住宅地に活気を取り戻し、あわせて茂原市民の皆様の健康増進と親睦、そしてスポーツ振興を目指すイベントとされております。1チーム5人以上10人以下までとし、1周ごとにたすきをつなぐリレー方式で、小学生から年配者まで8部門に分かれて住宅地内を1周3キロの周回道路を14周し、タイムを競う競技でございます。まさに、茂原市の計画するスポーツ推進事業に合致するもので、ぜひとも市民が始めた事業を茂原市の名物となるイベントに育てていきたいので、緑ヶ丘リレーマラソンに市が積極的に関与すべきと考えますが、いかがでしょうか、お伺いします。

以上で第1回目の質問を終わります。

○議長（鈴木敏文君） ただいまのはつたに幸一議員の一般質問に対し当局の答弁を求めます。
市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） はつたに幸一議員の一般質問にお答えさせていただきます。

私からは、財政見通しと茂原の将来像についての中で、市の考える財政健全化についての御質問でございますが、財政健全化法において、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標につき、早期健全化基準及び財政再生基準が定められております。

各指標がこれらの基準を超えた場合、市町村は財政健全化計画等を作成し健全化を図ることが義務付けられています。本市の4指標は、いずれも基準を下回っており、年々改善しておりますので、その意味からは、一応健全な状態にあるものと言えます。しかしながら、平成28年度の実質公債費比率は10.4%で、県内37市中4番目、将来負担比率は115.0%で3番目と他団体に比べて高い水準にあり、依然として楽観視できる状態ではないものと考えております。ちなみに、実質公債比率、茂原市は10.4%ですけれども、県平均が5.8%でございます。将来負担比率は、県平均が43.8%、茂原市は115%でございますが、圧倒的に茂原市は高いという状況でございますので、まだまだ予断を許さないと考えております。

私からは以上です。

○議長（鈴木敏文君） 企画財政部長 十枝秀文君。

（企画財政部長 十枝秀文君登壇）

○企画財政部長（十枝秀文君） 企画財政部所管にかかわります御質問に御答弁申し上げます。

まず、財政見通しと次期総合計画との兼ね合いについて、財源だけにこだわらず茂原市の将来像、人口の増加等を目指した攻めの政策があるのかについてでございますが、現在、総合計画の計画期間が平成32年度までであることから、まだ次期総合計画の策定には取りかかっておりませんが、次期計画では、茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を継承しての人口減少問題対策を盛り込み、新たな将来都市像を定め、次代の茂原市の創造に向けた計画を策定するものでございます。

次に、茂原市民会館の建設について、市民会館を含む複合施設の建設を（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジからほど近い長生の森公園に建設する考えはないかの御質問に御答弁申し上げます。新しい市民会館の基本的な役割の一つとして、誰もが気軽に目的がなくても立ち寄れる市民の交流や居場所となる施設を目指しており、より多くの市民利用を考えますと、市街地から離れた場所への建設は想定していないところでございます。また、長生の森公園の整備につきましては、平成5年度に事業着手し、現在も自然と調和させた県立都市公園として事業が進められているところであり、市といたしましても早期の完成をお願いしておりますので、新たな市民会館の予定地とすることは大変難しいと考えております。

次に、圏央道の効果を有効に引き出すため、広域、県、国との連携した新たな事業をする考えはないかでございますが、現段階では、広域連携による新たな事業の推進は考えておりません。しかし、圏央道を利用した新たな高速バスルートの可能性等について、近隣市町村との連携ができないかなど、検討を進めているところでございます。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

（都市建設部長 正林正任君登壇）

○都市建設部長（正林正任君） 都市建設部所管にかかわります御質問に答弁申し上げます。

初めに、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の今後の展開についての御質問ですが、茂原駅前通り地区土地区画整理事業につきましては、平成28年度末時点で、総事業費160億円のうち約101億円の残事業費を有しており、事業期間である平成43年度までの15年間で継続的に多額の事業費を投入する必要があります。

今後の事業展開につきましては、新たな補助制度を利用した事業費の確保や民間活力の活用、また、街区の高度利用を図りながら効率的な事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

次に、防災対策について、特定建築物の耐震化の状況についての御質問ですが、平成29年3月末現在、特定建築物である市有建築物は54棟のうち50棟の耐震性が確認されており、耐震化率は92.59%となっております。

また、平成28年1月現在、特定建築物である民間建築物は133棟のうち108棟の耐震性が確認されており、耐震化率は81.2%となっております。

次に、今後の市営住宅の用途廃止の計画についての御質問ですが、現在、茂原市公共施設等総合管理計画第1次アクションプラン及び第6次3か年実施計画に基づき、平成32年度までに吉井住宅と国府関住宅の用途廃止に向けて取り組んでいるところでございます。

次に、市営住宅の用途廃止に向けた住民説明をどのように行っているのかとの御質問ですが、現在進行中の市営住宅用途廃止事業における住民説明については、入居者に対し個別に事業説明会やアンケート調査を行い、丁寧に時間をかけて事業を進めております。国府関住宅につきましても、入居者の要望により住民説明会を行いました。

次に、借地料を支払っている市営住宅の現状についての御質問ですが、平成29年度における市営住宅年間借地料の支払い状況については、国府関住宅126万1480円、八丁寺住宅192万6190円、真名住宅1106万8184円、山崎住宅130万3139円の支払いをそれぞれ行っており、合計で1555万8993円でございます。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部長 山本丈彦君。

（経済環境部長 山本丈彦君登壇）

○経済環境部長（山本丈彦君） 経済環境部所管にかかわります御質問に御答弁を申し上げます。

圏央道の利活用の中で、圏央道を活用した周辺地域と連携による観光事業の具体的な計画の検討についての御質問でございます。現在、圏央道を活用した広域連携による取り組みといたしまして、長生地域観光連盟及び中房総観光推進ネットワーク協議会でそれぞれ各市町村の観光PRイベントなどを実施しておりますが、現在のところ、広域連携による新たな事業計画の予定はございません。しかしながら、本市といたしましては、広域連携の必要性を認識しておりますので、それぞれの組織の特徴を生かしたイベントの考案や新たな交通観光ルートの開発等を提案してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 総務部長 中村光一君。

（総務部長 中村光一君登壇）

○総務部長（中村光一君） 総務部所管にかかわります市民生活環境の向上についての中防の防災対策についての御質問に御答弁申し上げます。

初めに、防災意識の向上についての御質問ですが、住民の防災意識を向上するための取り組みといたしましては、地域防災訓練を実施するとともに、9月1日の防災の日に発行する広報

もばらにおいて、防災対策の基本である事前の備えや自助・共助・公助について周知しているところがございます。また、各種防災情報を掲載した防災マップの配布や地域の自主防災組織の支援等を行っております。

続きまして、自主防災組織が市内にどれくらいあるのか、また、カバー率はどの御質問です。平成29年10月現在の自主防災組織数は、78団体です。また、全世帯のうち自主防災組織の活動範囲にある世帯の割合を示すカバー率は、59.49%でございます。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 教育長 内田達也君。

（教育長 内田達也君登壇）

○教育長（内田達也君） 教育関係の御質問に御答弁申し上げます。

スポーツ振興についてですけれども、緑ヶ丘リレーマラソンに市が積極的に関与すべきと思うが、何か方策を考えているのかとの御質問でございますが、緑ヶ丘リレーマラソンは自治会が自ら立ち上げた大会で、過去4回開催され、参加者も年々増加し、本市のスポーツ振興に寄与いただいている大会として感謝しております。今後は、大会の認知度を上げるため、緑ヶ丘自治会とともに企画運営にかかわることにより、あらゆる周知方法を活用し、市内外を問わず、多くの人に参加をいただくようPRに努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） まず、現在の財政健全化状況については、頑張っているものの、他団体との比較ではまだまだという市の捉え方は理解できます。しかし、先ほど申し上げましたように、時代は刻々と動いております。茂原市第6次3か年実施計画に記載されている財政の見通しの中でも、財政計画は今後の財政運営の基礎となるものであるが、現在見込まれる一定条件のもとで試算されたものであり、景気や消費の動向、国、県の制度の改変など他律的な要素に大きく左右されるところがあるため、将来における変動等については予算編成等で柔軟に対応していくとうたっております。では、現在策定中の平成30年度予算のうち、投資的経費は前向きな姿勢で編成に当たっているのか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 企画財政部長 十枝秀文君。

○企画財政部長（十枝秀文君） 平成30年度予算は、現在、編成作業中でございますが、投資的経費についても、茂原市第6次3か年実施計画と整合を図りながら、内水対策関連事業や河川改修事業、土地区画整理事業などについて、できる限り予算配分していきたいと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 次に、先ほどの御答弁でも、次期計画では茂原市の将来像について、次代の茂原市の創造に向けた計画を策定する。なお、現在においては、現3か年実施計画に基づき進めているところとのことでしたが、交流人口及び定住人口増が必要なわけで、このような観点で人口増加を目的と定めた地方創生の取り組みは、継続的に事業を推進しているのかどうか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 企画財政部長 十枝秀文君。

○企画財政部長（十枝秀文君） 茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、雇用の場の創出や若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるための施策及び移住、定住の促進や、まちの魅力発信などを重要な施策と位置付け、取り組んでいるところでございます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 次は、歴史的な行事の東京オリンピック・パラリンピックに関して、どんな予算を考えているのか、お伺いしようとしたんですけども、昨日、山田議員も質問もされたので、今回は割愛させていただきます。

引き続き、年々、財政調整基金が積み上がっているわけでございますが、来年度の見通しと、この基金の使い方についてもお伺いしようとしたんですが、これも昨日御答弁がありましたので、割愛させていただきますが、ぜひチャレンジしてください。

次の質問です。茂原駅前通り地区区画整理事業の計画についてですが、御答弁によれば、平成28年度末時点での事業費の残が約101億円あり、平成43年度までの15年間で完成させるということは、年間約7億円程度が必要となるわけでございます。これをあらゆる制度の活用により事業費の確保や民間活力の運用を図り、効果的な事業の推進に努めていくというような御説明でしたが、それは具体的にはどのような方策で検討しているということですか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） 密集住宅市街地における老朽建築物等の除却を対象とした補助制度による事業費の確保や、街区を統合、再編して民間活力の活用による大街区化の検討、また、建物の共同化を図ることによる街並みの誘導が考えられます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） もう少し詳しく聞きたいところですが、時間の関係もあり、次に移ります。

次に、広域型観光についてですが、まず初めに、観光客のニーズを読み取り戦略的に観光政

策を実施していく、いわゆる観光マーケティングが必要と思われませんが、現在、茂原市として観光客のニーズや行動の把握を具体的にどのように行っている、または行う予定なのか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部長 山本丈彦君。

○経済環境部長（山本丈彦君） 本市での取り組みはございませんが、必要性を見定めながら近隣自治体との連携を視野に入れ、観光振興に向けた取り組みを検討してまいりたいと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） では、中房総観光推進ネットワークや長生地域観光連盟は、主に日本の観光客をターゲットにプロモーションを行っているところですが、インバウンドを取り込むためには、海外へのプロモーションが必要になります。トップセールスを含め、海外への観光プロモーションの計画はないのでしょうか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部長 山本丈彦君。

○経済環境部長（山本丈彦君） 本市単独で取り組む考えはございませんけれども、千葉県国際観光推進協議会が実施いたしますインバウンド推進事業を有効に利活用してまいりたいと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） さて、広域観光推進事業の日本版DMOの創設についてですが、茂原市としては、その後、どのようなアプローチを推進されておりますか。今、一宮町では、街中に着地型観光を目指す合同会社一宮観光局が創設されました。御存じですか。民間ではありますが、一宮町としては期待できるのではないのでしょうか。茂原市も早急に、どこが主体で推進できるかなど具体的に動く必要があると思いますが、いかがでしょうか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部長 山本丈彦君。

○経済環境部長（山本丈彦君） 日本版DMOの創設につきましては、まず近隣自治体の意向を確認しまして、現状を把握した上で検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 次に、新しい茂原市民会館の建設については、長生の森だけではなくて二宮地区での建設についてもお伺いするつもりだったんですが、市当局としては全く視野にないという御答弁でした。私もこの新市民会館が、もちろん市民の憩いの場であることは大前提であると思いますが、先ほどから申し上げておりますように、人口集積が求められるこ

と、外房の中核都市として文化の発信地であることを踏まえて多くの人に利用してもらえ
と、そして、大きな駐車場が必要なこと、財政的にも広域、県、国、あるいは一般企業の力を
かりたいことなどを考えると、スマートインターチェンジの近くで、長生の森公園をも臨める
二宮地域がふさわしいと改めて御進言します。もちろん駅の近くが望ましいのですが、車社会
のため、必ずしも駅近でなくてもよいと思いますし、この地域が、市街地から遠く離れた場所
とは、私は思いません。最終的には市民の声が一番ですので、ぜひ市民の声を聞いていただ
けないでしょうか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 企画財政部長 十枝秀文君。

○企画財政部長（十枝秀文君） 今後の基本構想の取りまとめに当たりましては、1月に基本
構想案にかかわるシンポジウムを開催する予定でございます。この中で意見のやりとりを行う
とともに、参加者アンケートを実施していく予定でございます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） アンケートのとり方についてですけれども、私の申し上げている
趣旨をぜひシンポジウムの出席者の皆様に十分御理解していただいた上でアンケートをおとり
いただけますか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 企画財政部長 十枝秀文君。

○企画財政部長（十枝秀文君） シンポジウムでの参加者アンケートにつきましては、シンポ
ジウムの内容についてだとか、今後の進め方等についての自由意見を中心としてのアンケート
になろうかと思えます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） では、改めて、これは要望でございます。アンケートのとり方
についてですが、私の申し上げている趣旨をシンポジウムなどの出席者の皆様に十分御理解
いただいた上でアンケートをお願い申し上げます。

引き続き、次の質問に移らせていただきます。（仮称）茂原長柄スマートインターチェン
ジ事業に関してですが、圏央道の利便性を最大限に利用するために、本格的にバスターミナル
事業の検討に入るお考えはまだありませんか。お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） バスターミナル事業の検討につきましては、高速バス路線の
確保とともに検討する必要があるものと考えております。新たな高速バス路線の開設の可能性
について現在検討をしておりますので、これにあわせてバスターミナルにつきましても、設置

の有効性、費用対効果等を考慮しながら検討してまいりたいと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 少しずつ前進してまいりました。ぜひ前向きな御検討をよろしく
お願い申し上げます。

次に、市民の防災意識を向上する現在取り組みについては了解いたしました。私の見解としては、まだまだ市民の中に防災意識が浸透しているように残念ながら思いません。何よりも、私は自主防災組織の充実が求められると考えます。

昨年の2016年4月に熊本で発生した震度7の大地震は、まだ記憶に新しいのですが、今年の10月に熊本県合志市に視察に行つてまいりました。その中で、私が印象深かつたことの中に、こんなことがあります。それは、地域防災計画の指定避難所以外の施設にも住民が押し寄せ、現場からの要請で開設したということ。テント泊、車中泊、自宅避難者については把握できなかった。事前に関車中泊やテント泊の場所を指定しておく必要がある。ただし、おののに自宅避難や指定避難所以外の公園や広場で車中泊等をされるので、行政での把握には限界があり、自主防災組織等での把握や連携が必要であるという点でした。ここで質問します。茂原市の指定避難場所は小中学校、高校や福祉センターなどですが、現実問題として、指定避難場所以外、例えば集会所や自治会館などに自主避難した場合、その住民に対してはどう対処するのか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 総務部長 中村光一君。

○総務部長（中村光一君） 備蓄品等の問題もございまして、原則としては、市の指定避難所に避難をしていただくように呼びかけることとなります。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 避難者の中には、高齢者等、指定避難所まで移動距離が長く、自ら避難することが困難な市民も多くいると思われまふ。そうした方々の災害時の移動手段は、地域の自主防災組織や自治会等の共助により支援することになります。そういった点からも、自主防災組織がいかに大切であるかということです。茂原市の自主防災組織の現在のカバー率は59.49%という答弁でございましたが、さらなるカバー率向上の方策を検討しているのか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 総務部長 中村光一君。

○総務部長（中村光一君） 新規の自主防災組織の設立に向けまして、まだ設立していない自治会に対し出前講座を行い、自主防災組織の必要性や設立の要領等を説明しております。また、

設立時には防災資機材及び戸別受信機を提供するとともに、防災資機材を収納するための倉庫等に対し補助金を交付して負担のかからない措置を講じておるところでございます。

なお、今年度は自治会長連合会の理事会においても自主防災組織設立についてのお願いを行ったところでございます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 平成26年12月に国が策定したまち・ひと・しごと創生ビジョンに基づき、茂原市も平成28年10月に茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、茂原市まちづくり条例のもと地域まちづくり協議会の設置を進めておりますが、今後、自主防災組織の設立や防災対策は自治会、あるいは地域まちづくり協議会のどちらが主体となって進めていくべきとお考えですか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 総務部長 中村光一君。

○総務部長（中村光一君） 自主防災組織につきましては、自分たちの地域は自分たちで守るという目的に向かって設立をしていただきますので、主体となる組織につきましては、地域の特性に応じて決めていただければよいものと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 自治会が主体であれば、茂原市民が本来、全員自治会に所属することが望めます。このような観点からも、自治会への加入促進をどう行っていくのか、お伺いします。

また、地方創生の中で設立された地域まちづくり協議会等の組織を市はどのように育成していくお考えか、お伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 市民部長 板倉正樹君。

○市民部長（板倉正樹君） 市では、自治会長連合会と連携協力し加入促進キャンペーン等を実施するなど、加入促進を図っております。それとあわせて、自治会長連合会による防災に関する研修会の開催などを通じて、自治会内の防災意識の向上にも努めているところです。また、地域まちづくり協議会においては、防災に視点を置いた活動も始まっておりますので、研修等の支援を検討してまいります。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） これは要望でございます。実は先般、11月30日の読売新聞の記事によれば、11月9日、10日に被災地の新潟県長岡市で、大規模震災への備えを考える第7回自治体災害対策全国会議が開催されました。その中で、全国の自治体職員や防災の研究者など

210名が参加し、過去の地震の経験や教訓も踏まえて、被災者支援と災害復興、地域創生のあり方について意見を交わしたという記事の中に、自主防災組織を通じて住民とふだんから顔の見える関係をつくり、役割を事前に把握するようにしたとか、うまくいったのは地域やボランティアが継続して運営した避難所、避難所の運営については日ごろから想定しておく必要があるなどの意見があり、座長の田村圭子新潟大学教授も、自助・共助・公助をそれぞれ強くするだけでなく、それぞれをつなぐ体制を構築することが今後の災害対策に最も有益だと述べております。このようなことを鑑みると、茂原市でも、まずは主防災組織の一日も早い充実が求められます。よろしく申し上げます。

次に、市営住宅の件でございますが、吉井住宅と国府関住宅の用途廃止への取り組みについては御理解できました。私は何度か市営真名住宅を訪ね、住民の声をお伺いいたしました。その中で、何回か市職員とともに要望や不満について対応もさせていただきました。その市営真名住宅についてですが、全体の住宅戸数に対し、現在の入居者数についてお伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） 平成29年11月1日現在、真名住宅の入居戸数については、管理戸数299戸に対し51戸でございます。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） では次に、市営真名住宅の耐震化の状況についてお伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） 平成20年度にプレキャストコンクリート造、4階建ての耐震診断を行い、耐震性の安全を確認しております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） それ以外の住宅の耐震化の状況はいかがですか。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） 昭和56年以前に建築された旧耐震基準の住宅については、まだ耐震診断を行っておりません。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） 入居率が管理戸数299戸に対して51戸ということは6分の5、すなわち約85%が空き家の状況であり、また、耐震化の状況と、先ほど御答弁の1106万8184円という高額な借地料を考慮すると、行く行くは用途廃止を検討せざるを得ないと思いますが、市の見解をお伺いします。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部長 正林正任君。

○都市建設部長（正林正任君） 真名住宅につきましては、吉井住宅、国府関住宅の用途廃止事業の進捗状況を勘案し、他の市営住宅も含め、総合的に判断してまいりたいと考えております。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） これは要望でございます。いずれにせよ、事業を進めていく上で、入居者一人一人の生活環境が違っていることを十分認識しながら、事業の目的、趣旨を御理解いただくために丁寧に説明を行うことが大切です。ぜひ今後も引き続き、入居者に寄り添った交渉を心掛けていくことをお願い申し上げます。

では最後に、緑ヶ丘リレーマラソンの件について再質問させていただきます。まず、緑ヶ丘リレーマラソンは、自治会とともに事業の御協力をいただけるとの御答弁をいただき、緑ヶ丘自治会をはじめとする主催者の皆様も喜ぶことと思います。応援している私からも感謝申し上げます。

今後は、さらにいかに盛り上げるか、本質問でも申し上げましたように、市民が立ち上げたマラソン大会を茂原市民の名物イベントに育てる上げるために、内外にアピールすることが必要と考えます。近隣では、睦沢町で開催されている健幸むつざわロードレースにおけるゲストの金メダリスト、高橋尚子さんや、いすみ市で開催しているいすみ健康マラソンのスポーツジャーナリストの増田明美さんのように、著名人を招いて参加者の拡大に一役かっている大会もございます。私も緑ヶ丘リレーマラソンの主催者、あるいは緑ヶ丘自治会長、副会長に、土佐礼子さんや渋井陽子さんを育てた鈴木元監督を紹介させていただきました。さらにお役に立てればと考えておりますが、茂原市といたしましても、名物イベントに育て上げるよう、大会のさらなるPRのために著名人を招くなど、参加者拡大に向けた考えはないのか、お伺いいたします。

○議長（鈴木敏文君） 教育部長 豊田 実君。

○教育部長（豊田 実君） 有名な選手を招待することは、多くの方に参加していただくために有効な手段の一つと考えておりますので、今後、参加者拡大に向けて検討してまいります。

○議長（鈴木敏文君） はつたに幸一議員。

○8番（はつたに幸一君） ありがとうございます。ぜひ、大会のアピール方法について積極的に御検討いただきますようお願い申し上げます。私、はつたに幸一の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（鈴木敏文君） 以上ではつたに幸一議員の一般質問を終わります。

ここでしばらく休憩します。

午前11時00分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午前11時10分 開議

○議長（鈴木敏文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

議案第22号の上程説明

○議長（鈴木敏文君） 次に、議事日程第2「議案第22号の上程説明」を議題とします。

議案第22号を上程します。

市長から提案理由の説明を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） 追加議案としてお願いいたします議案第22号「財産の取得について」御説明申し上げます。

本案は、茂原市市民会館トレーニング機器の購入について、議会の議決を求めるものでございます。詳細につきましては、担当部長から説明させますので、よろしく御審議賜り御可決くださいますよう、お願い申し上げます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 教育部長 豊田 実君。

（教育部長 豊田 実君登壇）

○教育部長（豊田 実君） 議案第22号「財産の取得について」御説明申し上げます。

本案は、企業版ふるさと納税制度を活用した寄附による茂原市市民会館トレーニング機器の購入について、予定価格が2000万円以上であるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を得ようとするものでございます。

取得金額は2201万400円、取得の相手方は有限会社小路スポーツ、納期は平成30年3月30日でございます。

よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（鈴木敏文君） 以上で提案理由の説明を終わります。

ここでしばらく休憩します。

午前11時13分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午前11時20分 開議

○議長（鈴木敏文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

報告第1号から第3号並びに議案第1号から第22号までの質疑後委員会付託

○議長（鈴木敏文君） 次に、議事日程第3「報告第1号から第3号並びに議案第1号から第22号までの質疑後委員会付託」を議題とします。

これより質疑に入ります。

最初に、報告第1号「専決処分の承認を求めることについて」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に報告第2号「専決処分の承認を求めることについて」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に報告第3号「専決処分の承認を求めることについて」質疑を許します。前田正志議員。

○12番（前田正志君） 報告第3号について質疑をお願いいたします。

一般会計補正予算でございますけれども、9ページの第10款災害復旧費について、台風21号、22号の被害によるものということでございますけれども、この被害箇所の概要、場所とか被害状況などについて教えていただけますでしょうか。よろしく願いたします。

○議長（鈴木敏文君） 当局の答弁を求めます。都市建設部次長 大橋一夫君。

○都市建設部次長（大橋一夫君） 土木対策にかかわる被害状況につきまして、まず、台風21号による災害復旧は、河川等災害復旧事業として、下太田地先における河川護岸の崩落による土砂を撤去いたしました。また、道路災害復旧事業として、立木地先では排水構造物及び法面の崩壊による復旧及び小林、長尾地先では道路法面の崩壊による土砂を撤去いたしました。

次に、台風22号による災害復旧は、河川等災害復旧事業として、大登地先では河川護岸の崩壊、道路災害復旧事業として、緑ヶ丘地先では道路法面の崩壊により、それぞれ測量、設計委託、仮復旧工事を行っております。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部次長 河野宏昭君。

○都市建設部次長（河野宏昭君） 都市政策にかかわります被害状況につきましては、台風21号の強風による八丁寺住宅木造1階建て4棟の玄関、庇部分の修繕を行うものでございます。

以上です。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 農業に関する被災でございますが、台風21号によります農業用排水路災害復旧事業につきましては、真名地先の豊田川に接続いたします農業用排水路の横断管及び川の法面の一部が崩壊したためと、また、同じく真名地先の農業用排水路施設のU字溝につきましても崩壊したため、これを復旧するものでございます。

次に、台風21号によります農道災害復旧事業につきましては、庄吉地先の農業用道路の法面が一部崩壊したため、復旧しようとするものでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 教育部次長 久我健司君。

○教育部次長（久我健司君） 学校施設の被害箇所及び被害状況につきまして御答弁させていただきます。被害箇所は、まず6カ所でございます。茂原小学校におきまして、教室棟屋上の笠木の板金が一部はがれたため復旧するものでございます。豊岡小学校におきましては、校舎北側の高さ1メートルのフェンスが幅8メートルにわたり基礎ブロックごと破損したため修繕いたしました。鶴枝小学校においては、体育館入り口付近に設置されておりました街灯照明の柱が倒れたため復旧したものでございます。西陵中学校におきましては、校舎北側のグラウンドを囲っております防球ネットの取り付け金具が支柱から外れたため復旧するものでございます。萩原小学校及び東部小学校のプールの日除けテントが破損したため復旧するものでございます。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。前田正志議員。

○12番（前田正志君） ありがとうございます。しっかりと復旧のほうをよろしくお願ひしたいと思います。以上です。ありがとうございます。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ次に、議案第1号「平成29年度茂原市一般会計補正予算（第5号）」について質疑を許します。前田正志議員。

○12番（前田正志君） 先ほどに引き続きまして、10款災害復旧費の中で、こちら9月28日の台風による被害があるんですけども、こちらの被害状況についてお知らせください。

○議長（鈴木敏文君） 都市建設部次長 大橋一夫君。

○都市建設部次長（大橋一夫君） 被害状況につきまして、9月28日の大雨による災害復旧は、河川等災害復旧事業として、水路側面が崩壊した本納駅南側の水路及び国府関市営住宅北側の

水路で、排水構造物を復旧いたします。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第2号「平成29年度茂原市特別会計下水道事業費補正予算（第1号）」について質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第3号「平成29年度茂原市特別会計介護保険事業費補正予算（第1号）」について質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第4号「平成29年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算（第1号）」について質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第5号「茂原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について」質疑を許します。前田正志議員。

○12番（前田正志君） 議案第5号について質問いたします。農地利用最適化推進委員とありますけれども、こちらの推進委員さんの詳細について、例えば役割とか、どのような人材が望ましいか、あるいは想定されているのかについて、お伺いいたします。

○議長（鈴木敏文君） 答弁を求めます。経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 農地利用最適化推進委員の役割につきましては、担当する地域におきまして、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消や新規就農者の参入促進等、農地利用の最適化の推進を行うこととされております。また、農地利用最適化推進委員に望まれる人材についてでございますが、農地利用の最適化の推進に熱意と識見を有する方が望ましいと考えているところでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。前田正志議員。

○12番（前田正志君） ありがとうございます。今の御説明ですと、かなり人材に限られるのかなど、なかなかハードルが高いなという印象でございますけれども、この委員の選考方法につきましては、どのようになっているのか、お伺いいたします。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 農地利用最適化推進委員の選考方法につきましては、推薦、応募された候補者を農業委員会内で組織いたします選考委員会が書類審査や面接などによりま

して選考する方法を検討しているところでございますが、他市町村の選考方法も参考にいたしまして、よりよい方法を決定したいと考えているところでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） それでは、お尋ねいたします。

国の根拠法令であります農業委員会法の改正の背景と、その狙いについてはどのようなもので、どう当局では分析されていらっしゃるでしょうか。これを伺います。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） これまで農業委員会では、農地法に基づく許認可事務と地域における現場活動を実施してまいりましたが、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く状況は、さらに厳しさを増しております。このような背景から、農業委員会の重要な業務が農地等の利用の最適化の推進であることを明確にしまして、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者参入の促進等、農地利用の最適化を強力に進めていくことを狙いとして改正されたものでございます。

このように農地利用の最適化、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者参入の促進等、これらを強力に進めるために地域の実情に精通した農地利用最適化推進委員の設置がなされまして、農地中間管理機構と連携しながら、農地の有効利用を図るものと分析しているところでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） それでは、この条例改正で大きく変わる分野と、また、変わらない分野につきまして、主なもので結構ですので、この改正の具体的内容についてお伺いいたします。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 条例の制定によりまして変化する分野及び改正の具体的内容につきましては、農業委員の定数をこれまでの27名から14名に変更いたしまして、農業委員の選出方法につきましては、選挙制と市町村長の選任制から市町村議会の同意を要件といたします市町村長の任命制に一本化されます。また、新たに定数15名の農地利用最適化推進委員を委嘱し、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の参入促進等の農地利用の最適化を推進してまいります。

なお、変わらない分野につきましては、農地法に基づく許認可事務と地域におけます現場活動、これらにつきましては、これまでと同様に農業委員の業務として行われてまいります。以上です。

○議長（鈴木敏文君） さらに質問ありますか。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） 質問ではございませんが、要望、意見その他で処理願います。

これは安倍首相のイデオロギー的な面がかなり出ているという、これは説明しづらいんですけども、戦後レジームからの脱却、これが色濃く出ています。要は、農業委員会、農地法、または農協法を変えるわけですけども、戦後農政の中心に据えられてきた制度をがらっと変える、自主的に解体するという大変な話なわけであります。この法律を決めるときに、与党間でも、何でやるんだということ賛成の意見はほとんどなかったという話で、集積される農地がどこに行くのかという話ですけども、これは農業者のためにならないという危険性のほうが多いわけなんです。現場ですぐ終わるのかどうかということになりますと、農業委員の公選制、不適合であるなんていう話はあまり聞かないわけであります。いたずらに現場に対して混乱を招いていると、こういう話でございます。これは非常に気を付けていかなければいけない話ですので、今後、戦後農政からの脱却という見地に立った条例改正とか、大変皆さん御苦労されると思いますけれども、この辺を注意していただきたいと思います。終わります。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第6号「茂原市公告式条例及び茂原市役所支所設置条例の一部を改正する条例の選定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第7号「茂原市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第8号「茂原市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第9号「茂原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第10号「議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第11号「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第12号「茂原市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第13号「茂原市職員の給与に関する条例及び茂原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第14号「茂原市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第15号「茂原市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第16号「茂原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第17号「茂原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第18号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第19号「訴えの提起について」質疑を許します。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第20号「指定管理者の指定について」質疑を許します。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） お願いいたします。

指定管理者の指定でございます。農事組合法人「ねぎぼうず」が市の直売所の管理者に指定されるという予定でありますけれども、この背景と選定についての経過について詳しく御説明

をお願いします。

○議長（鈴木敏文君） 答弁を求めます。経済環境部次長 木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 農事組合法人「旬の里 ねぎぼうず」は、これまで12年間で市内の各出荷農家や関連団体との連携体制が確立されたほか、地産地消や安心・安全を推進するとともに、経営ノウハウや利用客との信頼関係も蓄積され、本市の農業振興の核的存在となっているところでございます。今回、隣接地に新たな農業拠点施設となる農産物直売所を建設いたしますことから、農事組合法人「旬の里 ねぎぼうず」を指定管理者とすることで農産物直売所の設置目的が達成できると考えて、非公募としまして、学識経験者や専門的知識を有する者等で構成されました指定管理者選定委員会におきまして、農事組合法人「旬の里 ねぎぼうず」が指定候補者となったものでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） 今回の指定管理者選定に関しましては、本市の条例に掲げております一般的な公募ではなく、条例第2条の公募を行わないことに合理的な理由があるとき、これに基づいて当該法人が選定されたということだと思っております。今後も、この直売所に関して同様の選定方法になるのかどうか。

今後の指定管理者選定の方向性について伺ってまいりますけれども、安倍農政の特徴は、農業を成長産業と位置付けて、稼げる農業を目指しまして、大規模化、それも企業参入を促します。小規模家族農業の切り捨てなどが大いに懸念されておりますけれども、実際に起こっております。その一環が、競争を旨とする指定管理者制度であります。今回の管理者指定は、この基幹産業でありますところの農業の中で、家族農業を中心とした組合組織を優先して地域の農業を守る、こういう姿勢が示されているものと私は解釈しております。今後、こうした本市の姿勢が維持されていくのかどうか、伺います。

○議長（鈴木敏文君） 経済環境部次長、木島明良君。

○経済環境部次長（木島明良君） 農産物直売所は地元農産物の販売や多様な農村資源の活用によりまして消費者との交流を図り、地域農業の振興と活力ある地域の形成を目的としているところでございます。また、地産地消や安全・安心な茂原市産の農作物を購入できる農業拠点施設として設置するものでございます。このようなことから、市内の農業振興はもとより、市内農業者の営農や経営の安定が図られるような団体等が今後も選定されるものと考えているところでございます。以上です。

○議長（鈴木敏文君） さらに質問ありますか。飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） 今後、新自由主義的な農業政策が持ち込まれまして、企業参入などで弱肉強食の農政が横行する。そうすると、市の基幹産業である農業自体が重大な影響を受けるわけでありまして。地域社会も根底から覆される、こういう懸念があります。TPP、そしてまた二国間のFTAなどを見込んでの大規模化や、大企業の農業参入による家族農業切り捨て、地域破壊が懸念されるわけです。例えば、このような入札に対しまして大手企業が公募を盾に強引に参入してくる可能性も排除できないわけでありまして。

このようなことから、今回の「ねぎぼうず」を代表といたします地元農業を守れるかどうか、これが非常に課題となってまいるわけでありまして。将来においても、地域農業の守り手としての行政を貫いていただきたいと、これは切に申し上げたいわけでありまして。当面は「ねぎぼうず」の経営を絶対に守っていただきたい、こういう立場からお願いしておきます。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ次に、議案第21号「指定管理者の指定について」質疑を許します。細谷菜穂子議員。

○16番（細谷菜穂子君） 3点お伺いをいたします。

茂原駅南口公共駐車場でございます。指定管理者になった場合の試算、メリット、駐車料金についてどうなのか。

2点目は、駐車場の中に事務室があるわけですが、ずっとそこは使われていなくて、人がいないわけです。今度、指定管理者になった場合に人が常駐するのかどうか、そのあたりをお伺いいたします。

それから、3点目でございます。あそこの駐車場は現在の市立図書館の駐車場にも使われているわけですが、これから変化があるのかどうか、その3点、お伺いいたします。

○議長（鈴木敏文君） 答弁を求めます。都市建設部次長、河野宏昭君。

○都市建設部次長（河野宏昭君） 利用料金制を採用した指定管理者の導入によりまして、市の歳出としましては、駐車場委託管理料や修繕料、消耗品等々の需用費などの削減により、大幅な経費削減となります。一般会計からの繰入金と昨年度と比較しますと、1000万以上削減できる見込みとなっております。

さらに、場内照明のLED化や豊富な駐車場の実績を生かしたサービスの向上などが図られるものであります。

利用料金につきましては、現在、24時間最大800円ですが、これを引き下げるなどの提案を受けております。

次に、事務室に常駐するのかもしれませんが、指定管理者制度の導入後においては、一時的に人が配置される場合もありますが、基本的には無人施設としての運営となります。

次に、図書館の利用者につきましては、今までと同様に公共駐車場が利用できるように調整をしたいと考えております。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 再質問ありますか。細谷菜穂子議員。

○16番（細谷菜穂子君） 要望になりますけれども、事務室にはこれからも常駐しないということ。防犯カメラが幾つかあそこには設置されておりますが、安全性が少し気になるところです。

それから、メリットとして1000万円以上削減できるということでございます。料金のほうも下がるということでございます。

それともう1点要望なんですけれども、あそこにビジョン茂原が付けてありますよね。今とまっているわけなんですけれども、それはまもなく撤去されるという話も伺っています。駅前が寂しくなりますので、「育てよう！笑顔と自然と文化のまちを」が茂原市のキャッチフレーズでございますから、こういったことを掲げる看板とかを取り付けるのもいいかなというふうに思っております。お願いいたします。要望で結構です。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第22号「財産の取得について」質疑を許します。竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） 質問いたします。これは追加議案として先ほど出されました。その説明が足りないので、追加議案とした理由、そしてまた、普通は、財産の取得等は附属予算書が付くんですが、そういうものが付いておりません。そういう点についてお尋ねをしたいと思えます。

○議長（鈴木敏文君） 答弁を求めます。教育部次長、久我健司君。

○教育部次長（久我健司君） まず、本年7月に企業より寄附の申し出がございました。使い道につきまして市と企業間で調整を図りまして、本年第3回市議会定例会におきまして、歳入としましてはふるさと納税の3100万円、歳出につきましてはトレーニング室の改修及びトレーニング室内の器具の購入費といたしまして、合わせまして3273万2000円の補正予算を提出させていただき、御可決いただいたところでございます。その後、予算の裏付けが必要になりますので、9月に市民体育館の利活用向上を含めましたスポーツで茂原元気プロジェクトという地域再生計画をつくりまして、国に9月に申請をいたしました。この認定を受けないと企業側の

ふるさと納税による税法上の軽減措置が受けられませんので必要になったわけですが、11月7日に国より認定の連絡が来ました。その後、契約の依頼関係の事務を進めましたので、当初の議案提出はできず、追加議案となったところでございます。以上でございます。

○議長（鈴木敏文君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（鈴木敏文君） なければ、質疑を終結します。

ここでお諮りします。

ただいま議題となっております議案第18号については、人事案件のため、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鈴木敏文君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、議案第18号については、委員会付託を省略することと決定しました。

なお、その他の議案については、お手元に配付の議案付託表のとおり、各所管委員会にその審査を付託します。

————— ☆ ————— ☆ —————

休 会 の 件

○議長（鈴木敏文君） 次に、議事日程第4「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明9日から13日までは報告書作成等のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鈴木敏文君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、そのように決定しました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

次の本会議は14日午後1時から開き、議案並びに陳情の総括審議を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前11時52分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 一般質問

1. はつたに幸一議員の一般質問並びに当局の答弁

- ① 財政見通しと茂原の将来像
 - ② 圏央道の利活用について
 - ③ 市民の生活環境の向上について
2. 議案第22号の上程説明
 3. 報告第1号から第3号並びに議案第1号から第22号までの質疑後委員会付託
 4. 休会の件

○出席議員

議長 鈴木敏文君

副議長 中山和夫君

1番	飯尾 暁君	2番	石毛隆夫君
3番	岡沢 与志隆君	4番	大柿 恵司君
5番	平 ゆき子君	6番	向後 研二君
7番	杉浦 康一君	8番	はつたに 幸一君
9番	小久保 ともこ君	10番	田畑 毅君
11番	山田 広宣君	12番	前田 正志君
13番	金坂 道人君	15番	山田 きよし君
16番	細谷 菜穂子君	19番	三橋 弘明君
20番	竹本 正明君	21番	常泉 健一君
22番	市原 健二君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○欠席議員

18番 ますだ よしお 君

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席説明員

市 長	田 中 豊 彦 君	副 市 長	永 長 徹 君
教 育 長	内 田 達 也 君	総 務 部 長	中 村 光 一 君
企 画 財 政 部 長	十 枝 秀 文 君	市 民 部 長	板 倉 正 樹 君
福 祉 部 長	鶴 岡 一 宏 君	経 済 環 境 部 長	山 本 丈 彦 君
都 市 建 設 部 長	正 林 正 任 君	教 育 部 長	豊 田 実 君
総 務 部 次 長 (総務課長事務取扱)	岩 瀬 裕 之 君	企 画 財 政 部 次 長 (企画政策課長事務取扱)	山 田 隆 二 君
企 画 財 政 部 次 長 (市民税課長事務取扱)	麻 生 新 太 郎 君	市 民 部 次 長 (生活課長事務取扱)	岡 本 弘 明 君
福 祉 部 次 長 (社会福祉課長事務取扱)	鈴 木 祐 一 君	経 済 環 境 部 次 長 (農政課長事務取扱)	木 島 明 良 君
都 市 建 設 部 次 長 (土木建設課長事務取扱)	大 橋 一 夫 君	都 市 建 設 部 次 長 (都市計画課長事務取扱)	河 野 宏 昭 君
教 育 部 次 長 (教育総務課長事務取扱)	久 我 健 司 君	職 員 課 長	渡 辺 裕 次 郎 君
財 政 課 長	斎 藤 洋 士 君		

☆

☆

○出席事務局職員

事 務 局 長	三 橋 勝 美
主 幹	中 田 喜 一 郎
局 長 補 佐	渡 邊 み ゆ き